



JIS 認証・定期の認証維持審査 申請手続きの要点

**JIS A 5005
コンクリート用碎石及び砕砂編**



一般財団法人

日本建築総合試験所

製品認証センター

定期の認証維持審査申請に係る資料の提出方法

当センターから「認証維持審査実施確認書」を送信^{※1}

【仮申請】

「認証維持審査実施確認書」の回答を返信されましたら、申請期限(審査の基点日の3年後)の2ヶ月前をメドに以下の資料をご提出下さい。

- | | |
|-----------------------------|-------|
| ①定期の認証維持審査申請書 ^{※2} | } 各1部 |
| ②添付書類 ^{※2} | |
| ③社内規格 | |

■資料の送付先

〒540-0026 大阪府中央区本町2-4-7 大阪U2ビル6F (TEL 06-6966-5032)

(一財)日本建築総合試験所 製品認証センター 認証部

【仮受付】

当センターによる事前確認

「修正箇所指示書」を同封して全資料を申請者に返送^{※3}

【本申請】

修正した以下の資料をご提出下さい

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ①修正し押印した申請書 | } 正1部・
副(正をコピーしたもの)1部 |
| ②修正し押印した添付書類 | |
| ③修正した社内規格 | 正1部 |

■修正した資料の送付先

「修正箇所指示書」に記載されている送付先に送付して下さい。

【申請の正式受領】

審査日の決定 → 工場審査 → 製品試験 → 判定

※1:認証維持審査の実施時期等についての確認を致します。ご回答について返信下さい。

※2:最初の提出の際には、申請書及び他法令適合性誓約書への押印は不要です。

※3:返送費用は着払いとさせていただきます。

JIS認証・定期の認証維持審査申請手続きの要点

(JIS A 5005 コンクリート用碎石及び砕砂)

1. 申請書

申請書の様式は、**別紙 1 定期の認証維持審査申請書**のとおりです。

記載事項：

- ① 申請者の氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名を含む）及び住所〔社印、代表者印〕
- ② 認証工場名及び所在地
- ③ 認証番号及び認証日
- ④ 鉱工業品の名称
- ⑤ 日本産業規格の番号及び名称並びに等級又は種類
- ⑥ 認証の区分
- ⑦ 適用する品質管理体制の基準の種類
- ⑧ 品質管理責任者の氏名・役職及び連絡先（TEL,FAX,E-MAIL）

2. 添付書類

様式は、**別紙 2 添付書類**のとおりです。

- ① 前回の定期の認証維持審査後におけるJISマーク製品に関する品質管理実施状況等報告書
- ② 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項
- ③ 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る品質管理責任者に関する事項
- ④ 認証書のコピー（認証書別紙も添付）
- ⑤ 他法令適合性等誓約書
- ⑥ 社内規格（最新版）
- ⑦ 登記簿（履歴事項又は現在事項全部証明書）

3. 適合性評価

原則として審査員が1名で審査を行います。

3. 1 認証維持工場審査

- (1) 文書審査 ----- 申請書・添付書類及び社内規格（変更届等を含む）の審査
- (2) 工場の品質管理実施状況を審査 -- 社内規格に基づいて維持運営されていることを審査

3. 2 認証維持製品試験

- (1) 試験項目
申請書に基づき、認証の区分（碎石、砕砂）及び岩種ごとにJISに規定する品質の全項目について実施します。ただし、碎石、砕砂いずれの場合も、複数の製造ラインがある場合は、それぞれの製造ラインごとに以下の製品試験を行います。
 - 1) 生産量の最も多い製造ラインは、全品質項目。
 - 2) その他の製造ラインは、4.3粒度及び粗粒率、4.4粒形、4.5微粒分量。
- (2) サンプル場所
最終検査で合格になった製品の置場（ベルトコンベヤー上等も含む）
- (3) サンプル方法
ランダムサンプリング

(4) 試験場所と製品試験

製品試験は、JIS Q 17025の適合性が確認された試験機関（第三者試験機関等）で実施します。

- 1) 審査員が製品をカップリングし、製品毎に封印します。
- 2) 製品試験の依頼及び製品の運搬は、申請者が行います。
- 3) 試験料金の支払は、申請者が行います。
- 4) 試験報告書は、申請者が「正本」を審査員に提出して下さい。

5. 審査手数料

審査手数料は「製品認証手数料等料金説明書」によります。なお、工場審査は原則1日で実施しますが、2日以上となる場合は追加手数料を申し受けます。

以 上

次ページ以降の記入例について

赤字の箇所：申請の内容に応じて、適宜記入していただく箇所です。

青字の箇所：記入に際しての説明文です。申請時には消去してご提出下さい。

黒字の箇所：様式上の文章です。消去・修正等を行わないで下さい。

なお、検査（試験）データは、工場で日常的に記録している図表等を貼付していただけて結構です。また、工場配置図や製造工程図も、既存の資料を貼付していただけて構いません。ただし、A4版の用紙に限ります。

記入例

《定期の認証維持審査》申請書・添付資料(コンクリート用碎石及び砕砂) 2021/02/10

別紙 1

定期の認証維持審査申請書

正式に申請する日(書類発送日)をご記入下さい。仮申請の際は未記入で結構です。

2017年9月10日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 ○○ ○○ 殿

登記簿の住所を記入。

認証取得者所在地：大阪府大阪市中央区内本町二丁目4

社印を押印。

認証取得者名が法人の場合は、会社名(本社)及び代表権を有する方の役職名、氏名を記入。

認証取得者名：○○○○碎石 株式会社 社印

代表者名：代表取締役 建築太郎 印

代表者印(会社公印)を押印(認印不可)。

産業標準化法第30条第1項の規定に基づき、下記のとおり表示の認証を継続したいので、別紙書類を添えて申請します。なお、申請書・添付書類の記載情報については事実と相違ありません。また、「製品認証システム説明書」に記載された事項を遵守し、認証申請に係る必要な全ての情報を提供することに同意いたします。

(1) 認証工場名	(ふりがな) ○○○○碎石 かぶしがいいしや せんりこうじょう	
	○○○○碎石 株式会社 千里工場	
(2) 所在地	(ふりがな) おおさかふ すいたし ふじしろだい	
	〒565-0873 大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号 (TEL: 06-6872-0391)	
(3) 認証番号(認証日)	GB***** (2006年9月10日)	
(4) 鉱工業品の名称	コンクリート用碎石類	
(5) 日本産業規格の番号及び名称並びに等級又は種類	JIS A 5005 コンクリート用碎石及び砕砂 碎石、砕砂	
(6) 認証の区分	同上	
(7) 適用する品質管理体制の基準の種類	基準 (A or B)	
(8) 品質管理責任者の氏名・役職及び連絡先	氏 名 (役 職)	大阪 次郎 (工場長)
	連 絡 先	TEL : 06-6872-0391 FAX : 06-6872-0784 E-MAIL : *****@***. **. **

添 付 書 類

法人の場合は会社名を記入。

認 証 取 得 者 名 : 〇〇〇〇碎石株式会社
〒540-0026
所 在 地 : 大阪府大阪市中央区内本町二丁目4番7号
電 話 番 号 (本社) : 06-6966-5032
F A X 番 号 (本社) : 06-4790-8631

組合の場合：出資金を記入。
個人の場合：「－」と記入。

資本金：1000万円

工 場 名又は事業所名 : 〇〇〇〇碎石株式会社 千里工場
〒565-0873
所 在 地 : 大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号

前回の認証審査が初回審査の場合は、
「認証後における・・・」として下さい。

目次

ページ

1. 前回の定期の認証維持審査後における
J I S マーク製品に関する品質管理実施状況等報告書 -----
2. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項
 - (1) 審査を受ける工場又は事業場の経歴 -----
 - (2) 審査を受ける工場又は事業場の配置図 -----
 - (3) 審査を受ける工場又は事業場の従業員数 -----
 - (4) 審査を受ける工場又は事業場の組織図 -----
 - (5) 審査を受ける鉱工業品に係る社内規格一覧表 -----
 - (6) 審査を受ける鉱工業品の工程の概要図 -----
3. 定期の認証維持審査を受けようとする鉱工業品の種類 -----
4. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品、その包装等に付す表示の態様 -----
5. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る品質管理責任者に関する事項 --
(品質管理責任者の資格に関わる証明書のコピー貼付)
6. 認証書のコピー (認証書別紙も含む) -----
7. 他法令適合性等誓約書 -----

1. 前回の定期の認証維持審査後における

JIS マーク製品に関する品質管理実施状況等報告書
(コンクリート用碎石類)

前回の認証審査が初回審査の場合は、「認証後における・・・」として下さい。

項 目	品質管理等の実施状況										
1) 製品の生産状況	過去3年間の JIS マーク製品の生産実績。(付表-1 参照) ・ 2015 年 2 月以降は公共工事の減少の影響もあり出荷が落ち込んだ。 ・ JIS マーク外製品は主に〇〇で、全出荷量の約〇%である。										
2) JIS マーク製品の品質特性	代表的な製品の過去3年間の品質特性を、以下の付表-2 に示す。										
	<table border="1"> <tr> <td>(1)不純物</td><td>不純物を含んだ製品はなかった。</td></tr> <tr> <td>(2)物理的性質 (微粒分量含む)</td><td>2016 年 7 月以降原石採取場所を変更したため、密度が-0.05g/cm^3程度変化した(詳細は付表-2 参照)</td></tr> <tr> <td>(3)アルカリシリカ反応性</td><td>年 2 回(3 月・9 月)計 6 回、全て化学法で実施し「無害」であった。</td></tr> <tr> <td>(4)粒度</td><td>安定した粒度分布であった(粗粒率については付表-2 参照)</td></tr> <tr> <td>(5)粒形</td><td>安定した粒形であった(粒形判定実積率については付表-2 参照)</td></tr> </table>	(1)不純物	不純物を含んだ製品はなかった。	(2)物理的性質 (微粒分量含む)	2016 年 7 月以降原石採取場所を変更したため、密度が -0.05g/cm^3 程度変化した(詳細は付表-2 参照)	(3)アルカリシリカ反応性	年 2 回(3 月・9 月)計 6 回、全て化学法で実施し「無害」であった。	(4)粒度	安定した粒度分布であった(粗粒率については付表-2 参照)	(5)粒形	安定した粒形であった(粒形判定実積率については付表-2 参照)
(1)不純物	不純物を含んだ製品はなかった。										
(2)物理的性質 (微粒分量含む)	2016 年 7 月以降原石採取場所を変更したため、密度が -0.05g/cm^3 程度変化した(詳細は付表-2 参照)										
(3)アルカリシリカ反応性	年 2 回(3 月・9 月)計 6 回、全て化学法で実施し「無害」であった。										
(4)粒度	安定した粒度分布であった(粗粒率については付表-2 参照)										
(5)粒形	安定した粒形であった(粒形判定実積率については付表-2 参照)										
3) 品質管理責任者の変更の有無	☒ 有り 変更届 (提出済み ・未提出) ☐ なし										
a) 技術的生産条件およびその他変更の有無	☒ 有り (付表-3 参照) ☐ なし										
b) 前回の定期の認証維持審査および臨時の認証維持審査における指摘事項とその是正処置の状況	前回の認証審査が初回審査の場合は、「初回認証審査」として下さい。 ☒ 指摘事項有り (付表-4 参照) ☐ 指摘事項なし										
c) 苦情処理の状況	☒ 苦情有り (付表-5 参照) ☐ 苦情なし										

付表-1 JISマーク製品の生産実績状況※)

付表-1.1 (第1プラント) 2014年11月～2015年10月 生産実績 (単位: 100t)

一	種類及び粒の 大きさによる 区分	2014年 11月	12月	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
														生産量 (m ³)	比率 (%)
J I S マ ー ク 製 品	碎石	1505	101	99	111	100	100	89	100	100	85	100	115	1200	19
		2010	149	151	139	150	150	161	150	150	165	150	135	1800	27
		2005	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		4020	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		小計	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4200	64
	砕砂	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200	18
	合 計	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	5400	82

付表-1.2 (第1プラント) 2015年11月～2016年10月 生産実績 (単位: 100t)

一	種類及び粒の 大きさによる 区分	2015年 11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
														生産量 (m ³)	比率 (%)
J I S マ ー ク 製 品	碎石	1505	101	99	111	100	100	89	100	100	85	100	115	1200	19
		2010	149	151	139	150	150	161	150	150	165	150	135	1800	27
		2005	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		4020	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		小計	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4200	64
	砕砂	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200	18
	合 計	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	5400	82

付表-1.3 (第1プラント) 2016年11月～2017年10月 生産実績 (単位: 100t)

一	種類及び粒の 大きさによる 区分	2016年 11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
														生産量 (m ³)	比率 (%)
J I S マ ー ク 製 品	碎石	1505	101	99	111	100	100	89	100	100	85	100	115	1200	19
		2010	149	151	139	150	150	161	150	150	165	150	135	1800	27
		2005	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		4020	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	9
		小計	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4200	64
	砕砂	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200	18
	合 計	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	5400	82

※)記入上の注意

① 前回の定期審査の申請時に提出した最終月の翌月から、認証維持審査申請を行う直近の月までのデータを整数で記入。

(この記入例によれば、次回の定期審査の申請は「2017年11月」から記入することとなる)

② プラント毎に1シートとする。

付表-2 代表的な製品の3年間の試験結果実績

付表-2.1 (第1プラント) 碎石 2010

(2014年11月～2015年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	7.00	6.89	6.91	6.90±0.15
絶乾密度	12	2.67	2.65	2.66	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	0.80	0.49	0.71	3.0%以下
微粒分量	12	0.7	0.4	0.6	1.0±1.0%
粒形判定実積率	12	59.0	58.1	58.5	56%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	12%以下
すりへり減量	1	13.2	13.2	13.2	35%以下

付表-2.2 (第1プラント) 碎石 2010

(2015年11月～2016年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	7.00	6.89	6.91	6.90±0.15
絶乾密度	12	2.67	2.59	2.64	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	0.80	0.49	0.71	3.0%以下
微粒分量	12	0.7	0.4	0.6	1.0±1.0%
粒形判定実積率	12	59.0	58.1	58.5	56%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	12%以下
すりへり減量	1	13.2	13.2	13.2	35%以下

付表-2.3 (第1プラント) 碎石 2010

(2016年11月～2017年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	7.00	6.89	6.91	6.90±0.15
絶乾密度	12	2.61	2.59	2.60	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	0.88	0.78	0.83	3.0%以下
微粒分量	12	0.7	0.4	0.6	1.0±1.0%
粒形判定実積率	12	59.0	58.1	58.5	56%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	12%以下
すりへり減量	1	13.2	13.2	13.2	35%以下

付表-2.4 (第1プラント) 砕砂

(2014年11月～2015年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	3.00	2.89	2.91	2.90±0.15
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率	12	40	25	33	45%未満
絶乾密度	12	2.63	2.60	2.62	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	1.80	1.49	1.71	3.0%以下
微粒分量	12	3.7	3.4	3.6	3.0±2.0%
粒形判定実積率	12	55.0	54.1	54.5	54%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	10%以下

付表-2.5 (第1プラント) 砕砂

(2015年11月～2016年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	3.00	2.89	2.91	2.90±0.15
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率	12	40	25	33	45%未満
絶乾密度	12	2.63	2.54	2.60	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	1.80	1.49	1.71	3.0%以下
微粒分量	12	3.7	3.4	3.6	3.0±2.0%
粒形判定実積率	12	55.0	54.1	54.5	54%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	10%以下

付表-2.6 (第1プラント) 砕砂

(2016年11月～2017年10月)

試験項目	試験回数	最大値	最小値	平均値	社内規格
粗粒率	12	3.00	2.89	2.91	2.90±0.15
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率	12	40	25	33	45%未満
絶乾密度	12	2.63	2.54	2.58	2.5g/cm ³ 以上
吸水率	12	1.80	1.49	1.71	3.0%以下
微粒分量	12	3.7	3.4	3.6	3.0±2.0%
粒形判定実積率	12	55.0	54.1	54.5	54%以上
安定性	1	5.5	5.5	5.5	10%以下

付表-3 技術的生産条件等その他変更履歴

付表-3.1 技術的生産条件等変更履歴※)

届出*1 年月日	回答*2 年月日	変更内容*3	備 考
2015年 6月6日	2015年 10月10日	①破砕機・コーンクラッシャーの更新 ②選別機・ローヘッドスクリーンの交換	8月8日臨時工場 審査あり
2015年 10月10日	2015年 12月12日	①水洗設備・ハイメッシュセパレーターの交換 ②貯蔵ビンの追加	_____

※)記入上の注意

①前回の定期の認証維持審査申請書提出日から現在までについて記入。

② *1 には「技術的生産条件等の事前変更届」の右上の日付を記入。

③ *2 には「技術的生産条件等変更に伴う申請書・添付書類変更届に対する回答」の右上の日付を記入。

④ *3 には「技術的生産条件等の事前変更届」の変更内容を箇条書きで記入。

⑤ 変更がない場合は「変更なし」と記入。

付表-3.2 申請書・添付書類変更届あるいは製品認証範囲変更届履歴※)

届出*1 年月日	回答*2 年月日	変更内容*3	備 考
2015年 6月6日	2015年 6月12日	JIS マーク表示の変更 (JIS 認証による認証番号の記載)	_____
2015年 9月10日	2015年 9月17日	品質管理責任者の変更 (大阪一郎 → 大阪次郎へ変更)	_____

※)記入上の注意

①前回の定期の認証維持審査申請書提出日から現在までについて記入。

② *1 には「申請書・添付書類変更届 (あるいは製品認証範囲変更届)」の右上の日付を記入。

③ *2 には「申請書・添付書類変更届 (あるいは製品認証範囲変更届) に対する回答」の右上の日付を記入。

④ *3 には「申請書・添付書類変更届 (あるいは製品認証範囲変更届)」の変更内容を箇条書きで記入。

⑤ 変更がない場合は「変更なし」と記入。

付表-4 前回の定期の認証維持審査および臨時の認証維持審査指摘事項確認表※)

前回の認証審査が初回審査の場合は、
「初回認証審査」として下さい。

< 前回の定期の認証維持審査 >

工場 審査 年月日	是正処置 提出 年月日	フォロー アップ 審査 年月日	承認 年月日	指摘内容	備考
2014年 11月6日	2014年 12月7日	2015年 1月8日	2015年 3月10日	砕石において微粒分量が規定値を満足できなかった。	フォローアップ審査で適合

< 臨時の認証維持審査（実施した場合のみ記載） >

工場 審査 年月日	是正処置 提出 年月日	フォロー アップ 審査 年月日	承認 年月日	指摘内容	備考
2015年 8月8日	—	—	2015年 10月10日	—	製造設備更新による

※)記入上の注意

- ①前回の定期の認証維持審査と、それ以降現在までの臨時の認証維持審査における指摘事項について記入。
- ②前回の認証審査が初回審査の場合は、「前回の定期の認証維持審査」を「初回認証審査」に書き替える。
- ③承認年月日は、指摘事項に対する処置が全て完了した日(評価判定結果通知書右上の日付)を記入。
- ④臨時の認証維持審査においては実施した場合のみ記入。

《指摘事項があった場合》

表に必要事項を記入し、指摘事項確認書のコピーを添付する。

《指摘事項がなかった場合》

- ①「工場審査年月日」および「承認年月日」のみを記入。
- ②「指摘内容」には「指摘事項なし」と記入。

苦情受付 年月日	苦情処置 完了 年月日	苦情内容	処理内容
2015年 6月6日	2015年 7月7日	納入先の受入検査で碎石に栗石が混入されていた。	当該製品は JIS マーク製品で、ロット合格品であった。 異物は貯石場の土場のもので、ショベルにより掘りかえされたものであった。再発防止のため、貯石場の床にコンクリートを打設した。 なお、当該製品は全量工場へ持ち帰り代替品を納入した。
—	—	—	—

※)記入上の注意

- ① 前回の定期の認証維持審査申請書提出日から現在までについて記入。
- ② 苦情がない場合は「苦情なし」と記入。複数ある場合は全て記入。
- ③ 製品の苦情に関する場合は、当該製品が「JIS マーク製品」か「JIS マーク外製品」の区別を明確に記載し、その製品ロットの可否を記入。

2. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項

(1) 審査を受ける工場又は事業場の経歴※) (JIS認証取得以降)

2006年8月 JIS A 5005「コンクリート用碎石及び砕砂」碎石のJIS認証を取得

認証日：2006年9月10日

認証番号：GB*****

JISマーク使用開始日：2006年10月1日

2007年9月 JIS A 5005「コンクリート用碎石及び砕砂」砕砂の認証を追加取得

追加認証日：2007年9月10日

2008年11月 定期の認証維持審査(1回目)を受審

基点日(申請受理日)：2008年9月20日

2011年11月 定期の認証維持審査(2回目)を受審

基点日(申請受理日)：2011年9月20日

2014年11月 定期の認証維持審査(3回目)を受審

基点日(申請受理日)：2014年9月20日

現在に至る

他工場に関する概要

工場名	〇〇〇〇碎石(株) 大阪工場
認証区分	JIS A 5005「コンクリート用碎石及び砕砂」 碎石
認証日	2007年10月20日
認証番号	GB△△△△△△△

※)記入上の注意

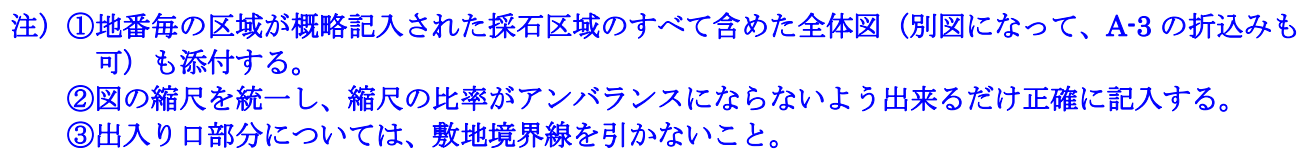
- ① JIS 認証を取得した以降の経歴を記入。ただし、事業承継があった場合は③に従って記入。
- ② 申請工場に係る主要事項のみを記入。なお、1社で複数工場を有する場合、他工場のことは経歴中に記入しない(⑤参照)。
- ③ 他の会社から事業承継した場合には、「〇〇株式会社より〇〇工場を事業承継し、〇〇工場とする」のように、承継内容を具体的に記入。ただし、被承継工場の過去の経緯は記入しない。なお、事業承継した工場が JIS 認証工場であった場合には、以下の事項を記入する。
【承継内容】
 所在地：〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
 敷地面積：〇〇〇〇m²
 認証区分：JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」普通コンクリート・舗装コンクリート、軽量コンクリート
 認証日：〇〇年〇月〇日
 認証番号：〇〇〇〇〇〇
- ④ 会社形態や社名の変更を行った場合には、「〇〇有限会社を、△△株式会社に社名変更する」等と記入。
- ⑤ 1社で複数工場(JIS 認証工場に限る)を有する場合、「現在に至る」のあとの【他工場に関する概要】に必要な事項を記入(該当しない場合は表を削除し、2工場以上ある場合は表を追加すること)。
 JIS 工場以外又は他業態の場合：製造品目又は業種を記載。
- ⑥ 事業休止や処分などで「認証の一時停止」となった場合は、その内容を記入。

(2) 審査を受ける工場又は事業場の配置図

(a) 最寄駅と申請工場の関係

最寄り駅	地下鉄御堂筋（北大阪急行）線 千里中央駅	
利用交通機関	阪急バス（大阪外大行）	タクシー
所要時間（距離）	約 20 分	約 10 分

この余白に最寄り駅から工場までを図示する。地図のコピーを貼付してもよい。



(3) 審査を受ける工場又は事業場の従業員数**■ 1 社 1 工場の場合**

(2017年11月20日現在)

区 分	事務係	輸送係	製造係	出荷係	資材係	試験係	計
従業員数 (臨時従業員数の内数)	2 (0)	3 (1)	2 (0)	1 (0)	※	2 (0)	10 (1)

※出荷係1名は資材係を兼務する。

■ 工場等が複数の場合**(a) 企業全体の従業員数**

(2017年11月20日現在)

区 分	従業員数 (臨時従業員数の内数)
本 社	8 (0)
千里工場	10 (1)
大阪工場	10 (2)
計	29 (3)

(b) 申請工場 (千里工場) の従業員数

(2017年11月20日現在)

区 分	事務係	輸送係	製造係	出荷係	資材係	試験係	計
従業員数 (臨時従業員数の内数)	2 (0)	3 (1)	2 (0)	1 (0)	※	2 (0)	10 (1)

※出荷係1名は資材係を兼務する。

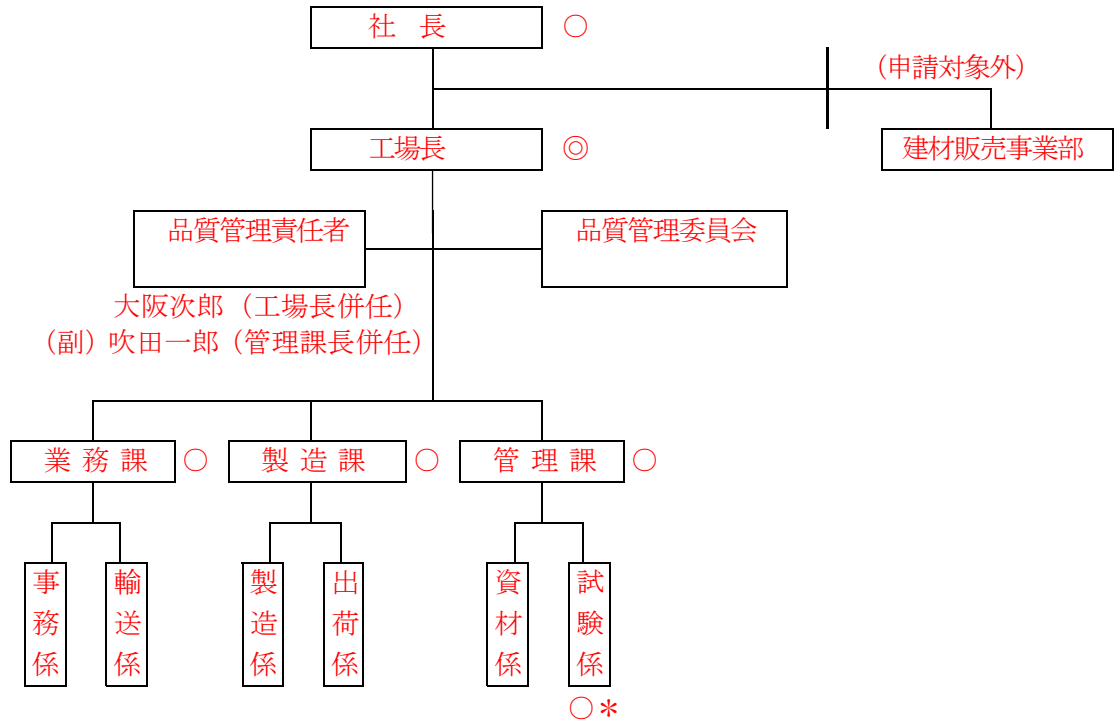
※)記入上の注意

- ①区分は次頁(4)工場又は事業場の組織図にある各課又は係の区分に合わせる。
 ②臨時の従業員がいない場合は「0」と記入。
 ③兼任している場合は該当する区分の従業員数に「※」を付記する。
 ④「1社1工場の場合」、「工場等が複数の場合」のいずれかを選択し、不要分は消去する。

(4) 審査を受ける工場又は事業場の組織図

■ 1 社 1 工場の場合

(2017年11月20日現在)



◎：品質管理委員会の委員長

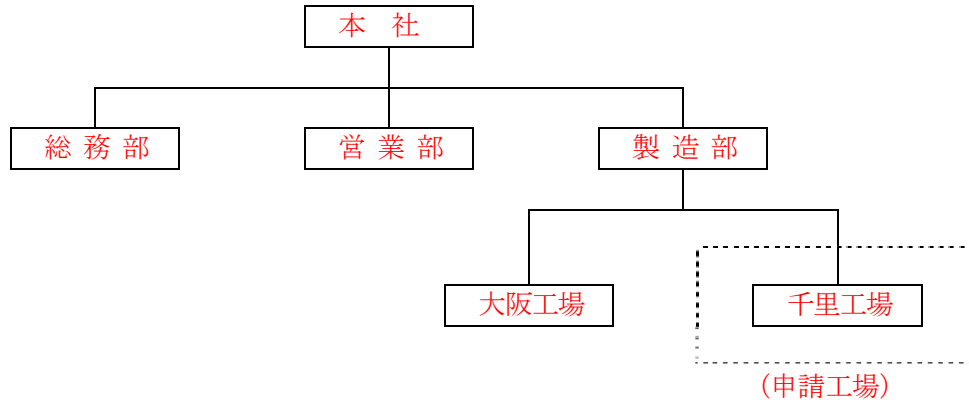
○：品質管理委員会の委員

*：品質管理委員会の事務局

■工場等が複数の場合

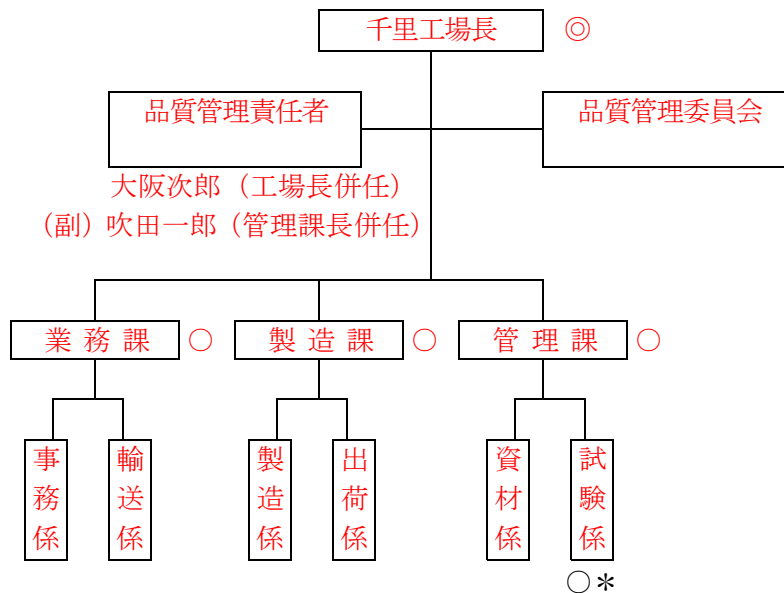
(a) 本社と申請工場(千里工場)との関係

(2017年11月20日現在)



(b) 申請工場(千里工場)の組織図

(2017年11月20日現在)



◎ : 品質管理委員会の委員長

○ : 品質管理委員会の委員

* : 品質管理委員会の事務局

※)記入上の注意

「1社1工場の場合」、「工場等が複数の場合」のいずれかを選択し、不要分は消去する。

(5) 審査を受ける鉱工業品に係る社内規格一覧表

社 内 規 格 名	
総則	経営方針 年度目標管理規定 社内規格作成規定 組織規定 品質管理責任者規定 品質管理委員会規定 教育訓練規定 文書管理規定 公害防止規定 安全衛生規定 不適合管理規定
製品の管理	製品規格 製品検査規定
原材料の管理	原材料品質規定 原材料受入検査規定 原材料保管管理規定
製造工程の管理	製造工程図 工程中の検査規定 製造作業標準 製品保管管理規定 出荷規定
設備の管理	設備購買規定 製造設備規定 検査設備規定 検査設備管理規定
外注管理	外注管理規定
苦情処理	苦情処理規定
品質管理	品質管理規定 試験方法

(6) 審査を受ける鉱工業品の工程の概要図

社内規格の工程概要図を貼付

3. 定期の認証維持審査を受けようとする鉱工業品の種類

種 類	粒の大きさによる区分	アルカリシリカ反応性 による区分
砕 石	砕石 4 0 2 0	A
	砕石 2 0 0 5	
	砕石 2 0 1 0	
	砕石 1 5 0 5	
砕 砂	砕 砂	

「認証マーク等の表示の使用許諾に係る契約書」に転記するため、正確に記入のこと。また、社内規格とも整合させること。

4. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品、その包装等に付す表示の態様

日本産業規格の番号、名称及び等級又は種類	表示を付す鉱工業品の単位	表示場所	表示の方法及び付記の方法	表示事項及び付記事項	
JIS A 5005 コンクリート用砕石及び砕砂 ・ 砕石 ・ 砕砂	1 出荷ごと	送り状	印刷	①JISマーク	外径 12±1 mm
			印刷	②一般財団法人日本建築総合試験所の略称及び認証番号	GB*****
			印字	③種類(呼び方)	例) コンクリート用砕石2005A コンクリート用砕石2010A コンクリート用砕砂A
			印刷	④製造業者名	〇〇〇〇砕石株式会社
			印刷	⑤採取地	大阪府吹田市藤白台
			印字	⑥出荷年月日	令和**年**月**日
			印字	⑦出荷時の質量又は容積	*****
			印字	⑧納入先の会社名・工場名	*****

納入書の製造業者名と整合をとる。(株や有などの略号で表記の場合は、(株)や(有)と記入。)

印字か印刷かを識別。
印字：プリンター打ち
印刷：あらかじめ印刷

和暦か西暦かを識別。

5. 定期の認証維持審査を受ける鉱工業品に係る品質管理責任者に関する事項※)

- (1) 品質管理責任者の氏名、生年月日、職名及び最終学歴
- (2) 品質管理責任者の認証を受けようとする鉱工業品の製造に必要な技術に関する実務経験
- (3) 品質管理責任者の標準化及び品質管理に関する実務経験及び専門知識の修得状況

事 項	内 容		
(1) (ふりがな) 氏 名	(姓) おおさか 大阪	(名) じろう 次郎	
(2) 生年月日	1947年 1月 24日		
(3) 職 名	工場長		
(4) 最終学歴	千里実務専門学校		
(5) 認証を受けようとする鉱工業品の製造に必要な技術に関する実務経験			
		通算経験年数18年	
企 業 名	所 属 部 署	期 間	
〇〇ブロック㈱	〇〇工場 技術課	1990年4月 ～ 1998年3月	
〇〇〇〇砕石㈱	千里工場技術課	1998年4月 ～ 2008年4月	
(6) 標準化及び品質管理に関する実務経験			
		通算経験年数18年	
企 業 名	所 属 部 署	期 間	
〇〇ブロック㈱	〇〇工場 技術課	1990年4月 ～ 1998年3月	
〇〇〇〇砕石㈱	千里工場技術課	1998年4月 ～ 2008年4月	
(7) 標準化及び品質管理に関する専門知識の修得状況 (次のイ、ロ、ハ、ニの該当する箇所に記入すること。)			
イ. 大学において履修			
大 学 名	学 部 学 科 名	卒業年度	履 修 科 目
—	—	—	—
ロ. 短期大学又は高等専門学校において履修			
学 校 名	学 科 名	卒業年度	履 修 科 目
—	—	—	—
ハ. 講習会等の課程を修了			
講習会等実施機関名	受 講 期 間	講習会 (コース) 名	
(財) 日本規格協会	1998年4月～1998年8月	工業標準化品質管理推進責任者講習会 (専修科コース)	
ニ. その他の方法で修得 ()			

※)記入上の注意

- ① 通算経験年数は整数で記入。
- ② 期間は就任月～申請される月の前月までを記入。

品質管理責任者の資格に関わる
証明書のコピー貼付

工場で保管している認証書の本紙と
別紙のコピーを添付

7. 他法令適合性等誓約書

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 ○○ ○○ 殿

申請書の日付と同じ
日付とする。

2017年9月10日

社印を押印。

認証取得者所在地:大阪府大阪市中央区内本町二丁目4番7号

認証取得者名:○○○○碎石株式会社

社印

代表者名:代表取締役 建築太郎 印

代表者印(会社公印)を押印 (認印不可)。

他法令適合性等誓約書

2017年9月10日付の定期の認証維持審査申請書(品目名:JIS A 5005 「コンクリート用碎石及び砕砂」碎石・砕砂)の提出にあたり申請工場は、都市計画法、建築基準法および宅地造成法ならびに環境基本法等の立地・操業に係わる関係法規に適合していることを確認しました。

なお、認証後、当該工場が上記関連法規に違反していることが判明した場合は、貴認証機関には一切迷惑をかけず、その解決に努力します。

以 上

認証区分を記入。

登記簿
(履歴事項又は現在事項全部証明書)
(6ヶ月以内でかつ最新事項のもの)